



日本共産党  
北茨城市委員会  
浦原町並田100-7

毎週 日曜日発行

インターネットでも  
ご覧いただけます

http://www.jp-krib.com/

ご相談は  
お気軽に

市議会議員  
福田 明  
43-0468

市議会議員  
鈴木やす子  
42-2462

# 3月開 市長が施政方針を表明

3月4日、第1回定例会市議会が開会し、冒頭に施政方針演説がありました。

豊田市長は、今日の情勢について「国の経済は緩やかな成長が見込まれるが、個人消費の面からは豊かさや景気の回復を実感するには至っていない」と分析。

本年度の予算編成にあたっては、「市税、地方譲与税などが減額となる見込みのため、財源不足の状況には変

わりはなく、必要性、緊急性の高い事業を最優先にして編成した」と述べました。

具体的な施策として、本市総合計画の「施策の大綱」の6本の柱、行財政・市民

教育・文化・コミュニティ、都市基盤「生活・自然環境、地域産業、について説明しました。そして、「地方自治体を取り巻く環境は、依然としてき



## 「広報」さまざま

3月4～28日、市役所ロビーで「きたいばらき広報展」が開催されています。市内団体や企業、小・中学校の広報紙をみることができます。確定申告など何かと足を運ぶ機会も多い季節です。立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

- ・後期高齢者医療制度
- ・安心・安全の学校給食
- ・生産活動につながる食育
- ・男女共同参画の推進
- 福田明
- ・予算の特徴と健全化法
- ・公立病院ガイドライン
- ・高齢者医療と低所得者
- ・国保税の値上げ問題
- ・「健康都市宣言」

## 一般質問

市議会の一般質問は、3月10日(月曜日)におこなわれます。通告は9名です。鈴木やす子議員は3番目、福田明議員は8番目に登壇します。質問予定の項目は次のとおりです。

3月6日、市女性連盟の主催で、「裁判員制度」についてのセミナーが開かれました。水戸検察庁の方の講話につき、実際の法廷をドラマ仕立てにした映画を鑑賞しました。会場には、いつもより男性の参加者も多く、関心の高さがうかがわれました。

## 女性セミナー「裁判員制度」



県内の高校で卒業式があった。級友との別れの日であると同時に、これから就職する人、進学する人、それぞれの人生にとっての新たな旅立ちの時でもある。

## 18才の旅立ち

福田 明

30数年前、私も高校を卒業して、親から買ってもらった背広を着て、友に見送られながら磯原駅から大阪の職場に向かった。なぜか、その当時の情景がよみがえってくる。若者が社会に巣立つ時ぐらい泣かせないでほしい。それが本場の政治の責任ではないだろうか、と最近そんなことを考えている。

一人っ子のK君は「僕は高校に行かずに就職するよ」と家族に言っていた。だが、私は「本人が本当は行きたいなら、何とかなるから」と家族に進学をすすめた。それだけに、K君が無事高校に合格できたと思った時は、うれしかった。

化に向けて邁進する」と結びました。なお開会に先立つ議員全員協議会で、市長は市立総合病院の改善策として、給与体系の見直し、医師の招へい、事務部長の外部登用、医療技術者の一般職への配置転換、事務室の移動、院外処方拡大、等々を発表。07年度の市立総合病院の赤字額は2億3千万円前後に縮小できる見通しを示しました。

生活之余儀なくされた。父親は以前からの重い糖尿病で視力が弱く働けなかった。その頃、私は初めてK君に出会った。

に車の免許を取りたいと悩んでいるが、力になってほしい」との相談であった。現金のないK君が免許を取るには自動車学校の費用を銀行ローンで払うしかない。私とK君は銀行等につけあったが、未成年者が融資を受ける際には、親が健康であること。そして年収が150万円以上であることが条件らしく、いずれにも該当しないK君は融資が受けられず、免許取得を断念せざるを得なかった。